

**！ 命を守る救命器具です・製品受領後必ずお読み下さい。**



# EX.自動膨張救命いかだ(ゴムボート)

【4/6/8/10人用】 取扱説明書<改訂8版>

4/6/8/10人用以外にも、25人・50人・100人乗り用も受注生産しています。

**実際に使用するまでは、絶対に本体のケースを開梱したり、白いロープを引かないで下さい。**

本製品は、自動膨張救命いかだの国際規格ISO9650-2/3認証の、船舶搭載用の、救命安全器具です。船の転覆や、津波・洪水・河川の氾濫等、命にかかわる事態になった時、正しく使えるよう、**製品受領後、必ず、すぐにこの取扱説明書を、熟読**して下さい。同じ取説が本取説に加え、コンテナかキャリーバッグ(以下“ケース”)の内側(自動膨張後のキャビン内)に1部、ケースの上部にも1部貼り付けてあります。



<取扱説明書>  
QRコード

本製品は、上記の通り国際規格適合品ですが、我国は国際規格に加え独自の規格を定め、日本国籍船に搭載する救命器具に適用しています。その結果、日本独自の規格適合品は中国製の国際規格適合品とほとんど性能がかわらないのに2~3倍以上の価格となり普及を妨げています。因みに我国は以前は船舶建造量世界一でしたが2020年には、中国が2326万トンで世界1位、我国は1280万トンで世界3位、ほとんどの欧米の船舶は中国製救命いかだを搭載しています。

## 保管方法

- 必要となった時、すぐに使用できるよう、**取出しやすく、運び出しやすい場所に保管**。保管中にショックを与えないで下さい。
- ケースは原則長辺を底にして、立てて置き、**絶対に上に重いものを載せない**。又できるだけ安定した、湿気の少ない場所に保管。
- ケースを移動させる際、**落としたり、ショックを与えたり、中から出ている白いロープを絶対に引かない**。

### コンテナ

コンテナの黒いバンドは膨張時に自動的にはずれます。それまで絶対に切ったり開かないで下さい。



### キャリーバッグ

キャリーバッグ開閉口は、マジックテープで閉まっていますが、膨張時に自動的に開きます。それまで絶対に開かないで下さい。



## 整備・保証

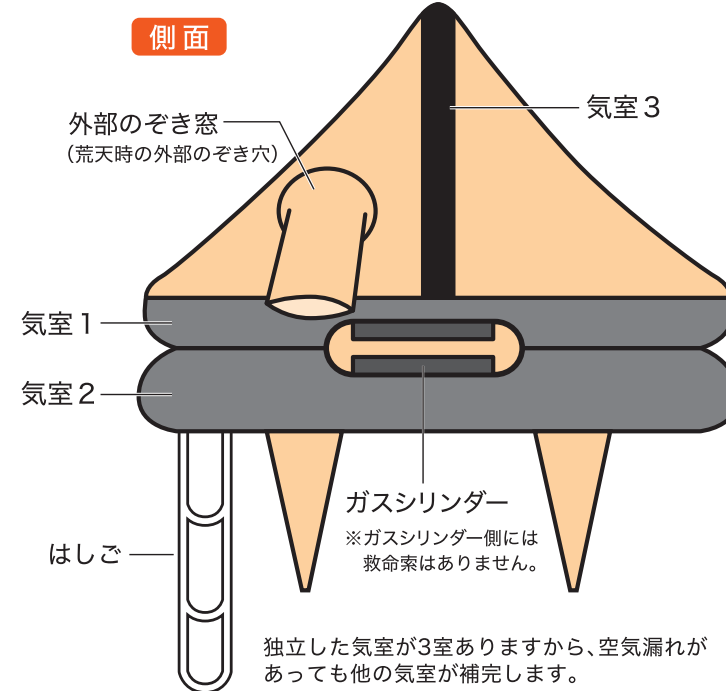
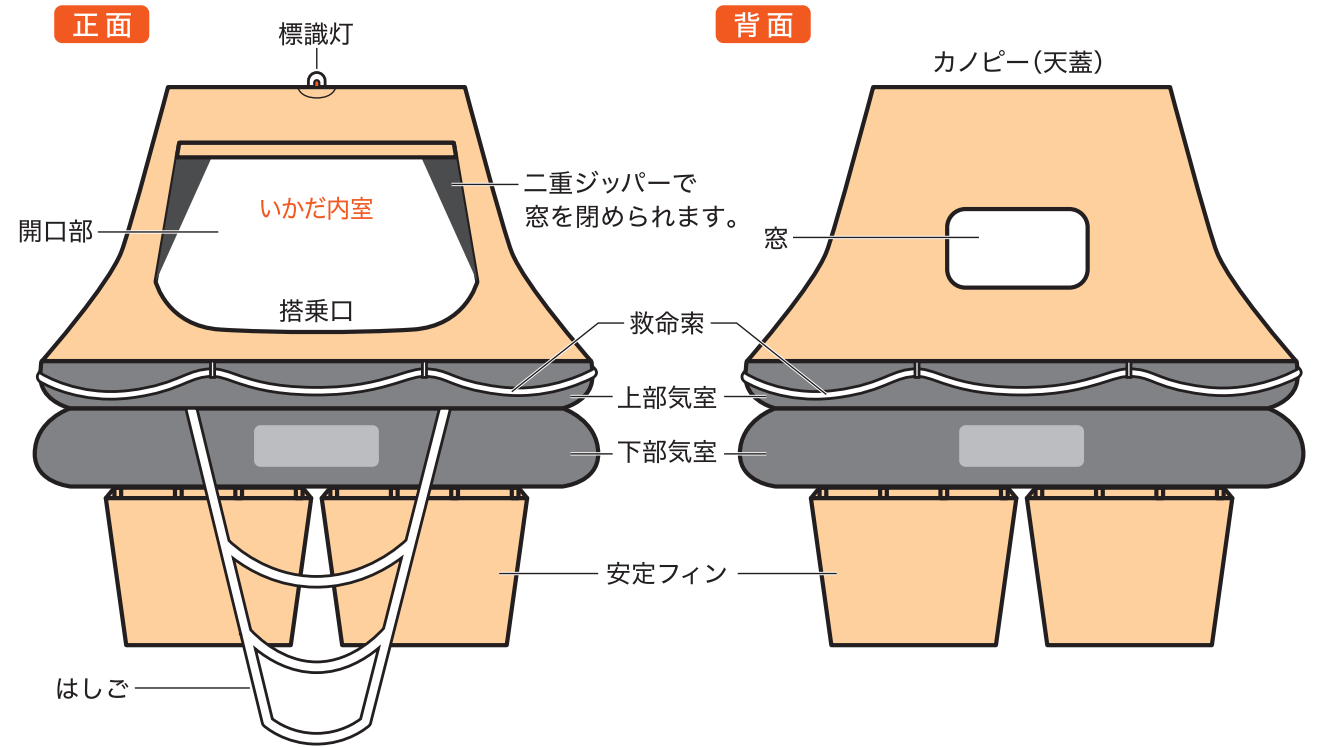
5年毎に当社指定のサービスステーションでの整備が必要です。必ず同封の保証登録書にご記入の上お送り下さい。5年経過前に、定期点検のご案内をお送りします。ガスボンベ交換費用を含む、初回点検整備費用は55,000円(消費税10%込)を予定しております。製品を引き取りご希望の場合は、当社までご連絡下さい、5,000円(2022年6月時点)で引き取り手配をします。

- 当社指定サービスステーションにおいて、初回整備点検時(最長お買上後5年以内)に、製品の不具合、備品の不足などが確認された場合、不具合を無償で改善、備品を補充します。
- 製品を取扱説明書に従って正しく保管されていなかったり、**ご自身で改造されたり、ケースを開けられた時は、保証致しかねます。**

## 仕様

EX.自動膨張救命いかだ(ゴムボート)	◆4人用		◆6人用		◆8人用		◆10人用	
	コンテナ<HYF-4C>	キャリーバッグ<HYF-4V>	コンテナ<HYF-6C>	キャリーバッグ<HYF-6V>	コンテナ<HYF-8C>	キャリーバッグ<HYF-8V>	コンテナ<HYF-10C>	キャリーバッグ
収納サイズ(約/mm)	750×480×325	680×430×280	760×530×335	670×500×280	770×540×340	810×500×280	825×575×350	—
収納重量(約)	32kg	26kg	35kg	29kg	38kg	32kg	42kg	—
膨張時 縦横四方	1270mm	1480mm	1740mm	1880mm	1740mm	1880mm	1880mm	—
サイズ(約) 高(除水面下)	1200mm	1250mm	1300mm	1400mm	1300mm	1400mm	1400mm	—
材質	救命いかだ:弾力性ポリアミド生地 / コンテナ:強化ファイバーグラス / キャリーバッグ:TPU(熱可塑性ポリウレタン)							
規格	規格:ISO-9650-2, ISO-9650-3 ISO(ライフラフト標準規格)						原産国:中国	

ご不明の点は当社お客様相談室にご連絡下さい。



独立した気室が3室ありますから、空気漏れがあっても他の気室が補完します。



### ■いかだ室内備品

- ① **ロープ切断用カッターナイフ**  
白いロープを岸の杭等につないでいる時は、いかだの自由行動を確保する為、カッターナイフで切る。
- ② 室内灯
- ③ 標識灯及び室内灯 入・切スイッチ(赤)
- ④ 3室ある気室への空気注入口
- ⑤ いかだにたどりつけない人用の浮輪
- ⑥ 雨水貯水タンク
- ⑦ 窓
- ⑧ 外部のぞき穴
- ⑨ シーアーカー  
海が荒れている時、ロープで水中に垂らし、いかだを安定させます。
- ⑩ ラミネート貼り取扱説明書

いかだの頂点の標識灯と、いかだ内の室内灯の電池は約10時間で消耗しますから、③の赤いスイッチを動かして入・切して下さい。別途、災害用自家発電マルチユニット(当社エバーブライト スーパーミニ多機能自家発電ラジオライト等)を準備されることをお勧めします。海が荒れたり、風雨が強い時は、いかだの揺れが激しくなります。備え付けのシーアーカーを水中に投下し、いかだの揺れを抑えて下さい。又搭乗者が一か所に集まり、重心が傾かないように注意して下さい。風雨除けの為に搭乗口を閉じていても、搭乗口右側に設置されているスリーブのついたのぞき窓に顔を入れ、外部の様子を見ることができ、換気口としても機能します。

■修理キットの使用法… 下図を参照して、本体の空気洩れと水の侵入を防いで下さい。

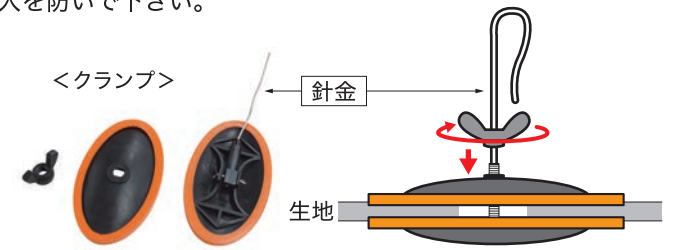
### ●小さい穴の場合

<プラグ> 生地にねじ込む



### ●大きい穴の場合

<クランプ> 針金の付いたクランプを生地の穴から生地の裏側に入れ、残ったクランプで生地を挟み込むようにして針金を通して、ネジをしっかり締めます。



## 使用方法

### ■ 海辺・河辺・平地で膨張させる時(図1参照):

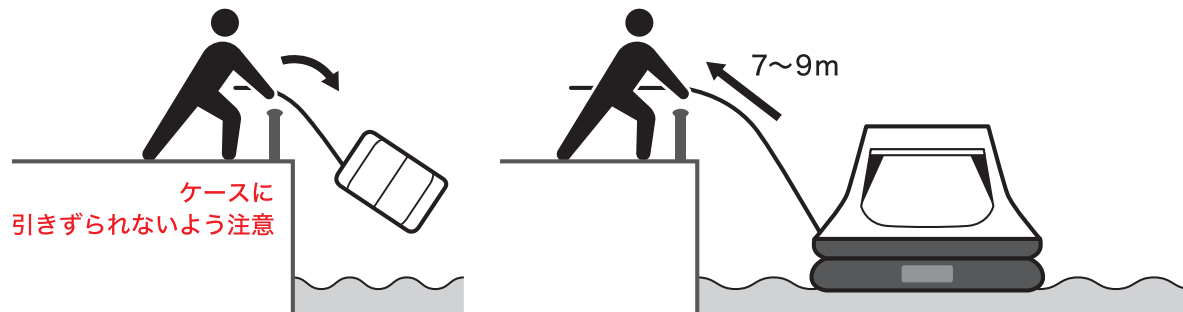
- ① いかだの**本体、特に側面や底を傷つけない**、尖ったもの(木の切り株・石・金属片)等が無く、できるだけ平らな、3メートル四方以上の広さの場所に本体を置く。**赤マークがついているケースの面を上にして置いて下さい**。反対向きに置くと、開いた時に上下逆になります。
- ② ケースから出ている**白いロープを引き出し、ケースから約1.5メートル離れた所に、足をしっかり踏ん張って立ちます**。ロープを張ったまま、**更にロープを引き、合計約7メートル引くと、白いロープに赤い印が見えたと同時にロープを引いた時に少し抵抗を感じます**。抵抗を感じたらロープをぴんと張ったまま、勢いをつけてロープをぐっと引っ張ります。ガスボンベのピンが解除され、ガスがいかだ本体に注入され、ケースが自動的に開き、約2分で膨張が完了します。ロープをぴんと張らず、たるんだままひっぱると、ガスボンベのピンが解除されず、膨張しませんから、必ずぴんと張ったまま、勢いよく引っ張って下さい(キャリアバッグの場合は、ケース側面の黒いカバーをはがし、ロープを引き出して下さい)。引くとケースが引っぱられ動くことがあります。



ガスが注入されると、シューッという音がし、15~20秒でケースが自動的に開き、透明のビニール広巾バンドで覆われた本体がケースの中から出てきます。本体が膨張をつづけ、ビニールカバーが破れますが、もし本体がケースから出てきてすぐにビニールカバーが破れなかった時は、ただちに手でビニールカバーを破り膨張動作の手助けをして下さい。2分程でシューッという音がしなくなったら、ガスが全て注入され、搭乗できるようになりますが、もしふくらみが充分でない場合は、いかだ室内にある3ヶ所の空気注入口から、それぞれの気室(カノピー:天蓋を支える支柱気室・いかだ本体の上部気室・下部気室)へ備品の空気ポンプで空気を注入します。使用が長期間になった時も、気室の空気は自然減少しますから、適宜空気を補充して下さい。又温度が下がると、いかだの素材が収縮し、わずかながら空気が減少しますから、空気ポンプで、空気を注入して下さい。

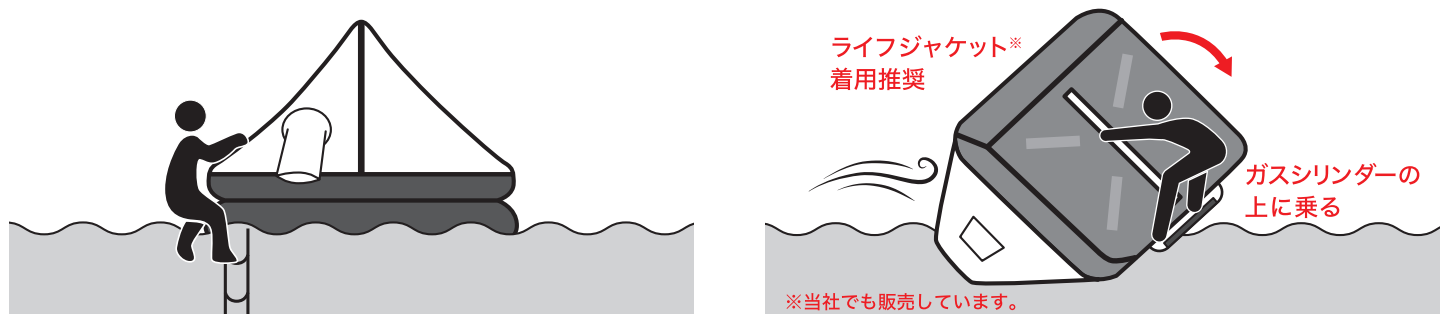
### ■ 船の上や、海や川辺のそばの橋等、高低差がある所では次の方法で膨張させる。

- ① ロープの端を手すりや欄干等、しっかり固定された物に結びつける(いかだ**膨張後、すぐにロープを外せるよう、ほどきやすい結び方をする**)。結びつけた後、ケースを水上に投下し、ロープが7m以上伸びるようにする。7m以上伸びない時は、ロープを手繰り寄せ7m以上引っ張り、膨張させる。**いかだが浮いたらロープを杭など結びつけたものからはずさずか、切断し、いかだの自由行動を確保**。
- ② ロープを結び付ける固定物が無い時は、ロープの端をしっかり手で持ち、ケースを水上に投下したら、すぐに近くの固定物を空いた手でつかみ、引きずられないようにする。



### ■ 搭乗

- いかだが膨張し終わり水に浮いたら、開口部のふちの下の縄梯子をつたい、いかだに搭乗。最初の方は、次の人に手を貸し援助する。いかだにたどり着けない人にいかだ内のロープ付救命浮輪を、投げて引き寄せせる。いかだに搭乗後は室内備え付けのカッターナイフでつなぎとめてあるロープを切断。
- もし、いかだが膨張完了後、上下逆の状態だったら、すぐに**入口の右側(ガスシリンダーのある側)のふち**に乗り、**底のストラップの上部を手前に引っ張り体重を後ろにかけて、いかだの上下を反転させる**。風下に向かって反転させると、より容易に反転可能。



いかだ本体の空気室(気室)は、本体下部気室・上部気室・天蓋(カノピー)支柱気室の3気室で構成されています。もし上部又は下部気室のどちらか一方の空気が抜けても、いかだは十分な浮力がありますから落ちて行動して下さい。

- いかだ内部では、**いかだの床や、気室を傷つけないよう注意**。固い底・とがったヒールの靴、尖った器具・アクセサリーを使用・着用しない。
- いかだには、底部に水中フィン(アンカー)が設置され、安定を図っている。いかだ内で搭乗者が一か所にかたよって座り、バランスを崩さないように注意。
- いかだには、下記緊急用具・備品が搭載されているので、必要に応じ活用。
- いかだを膨張後、ガスシリンダーの使用が長期間になると**気室の空気が自然減少するので、備品の空気ポンプを使い空気を充填**。
- **自動膨張機器・装置は最低5年に一回の点検が必要**です。下記記載の輸入総発売元にお問い合わせ下さい。
- 日本船籍の船舶に救命装置として搭載する場合は、一部備品の追加及び国内法に準拠した改造・点検が必要です。輸入総発売元にお問い合わせ下さい。
- 災害時には通常容易に入手できる食料や各種用具が入手できません。当社ホームページ記載の防災用品を準備される事をおすすめします。
- **誤って膨張させた場合等は、当社サービスステーションにおいて整備が必要です。絶対に不必要に膨張させないで下さい。**

### 緊急用具・備品 [いかだの中に入っています] (別売単価:価格は予告なく変更になることがあります。)

- ① **水に浮く手漕ぎオール×2** (1個 ¥2,200)  
いかだの推進・方向転換に。流されないよう注意。
- ② **水汲み用ひしゃく×1** (¥1,100)  
侵入した水の汲出し用。
- ③ **水吸出用スポンジ×2** (1個 ¥220)  
浸水した少量の水の吸い取り用。
- ④ **笛×1** (¥220)  
救助要請、位置確認に使用
- ⑤ **水に浮く防水懐中電灯×1** (¥1,100)  
予備電池、予備電球付
- ⑥ **信号発信用鏡×1** (¥660)  
太陽光やサーチライトを反射させ、救助要請、位置確認に使用
- ⑦ **手持ち式赤色火災発煙筒×3** (1個 ¥3,300)  
1) 赤色のレバーを起こして金属の筒と一直線にし、黒いゴムキャップを取り除き、金属部分ではなく赤いレバーを握ります。  
2) 中にある点火コードを引くと発煙が始まります。必ず人のいない方に向けて下さい。発煙は約60秒続きます。
- ⑧ **パラシュート型赤色発煙筒×2** (1個 ¥5,500)  
1) 両端の赤色と黄色のキャップを取り外し、下のキャップにある湿気防止の紙を取り除きます。  
2) 中にあるリングに指を入れて強く下に引いて、両手でしっかり持って筒を上に向けます。高さ300m、3万カンデラ以上、約40秒間燃焼します。
- ⑨ **空気ポンプ×1** (¥1,650)  
気室に空気を注入する時に使います。
- ⑩ **修理キット(プラグ大小×各2、クランプ×2)** (1キット ¥2,200)  
本体に穴が開いた時、穴にプラグをねじ込み、本体の生地をよじり、水留めに使用します。穴が大きい時はクランプの片方を生地の中側に入れてねじを締めて挟み込みます。
- ⑪ **船酔いバッグ(1人1袋)** (1袋 ¥110)  
気分が悪い時に使います。
- ⑫ **ラミネート貼り取扱説明書**

#### 推奨追加備品:

通常は容易に入手できる食料、各種用品が災害時には入手できません。普段から防災用品をご準備下さい。当社は、永谷園の美味しい長期保存食、防災用品ベスト1に選ばれた防災セット、浮具にもなる防災バッグ、ライフジャケット等、機能に優れた防災用品をご提供しております。メテックス→[検索](#)で当社HPをご覧ください。

EX.自動膨張救命いかだ 日本総代理店・輸入総発売元

健康・快適・安全を世界から  
**METEX**  
株式会社メテックス  
〒106-0044 東京都港区東麻布 3-3-9  
アネックス麻布十番オフィス 3階  
TEL03-3589-3300 www.metex.co.jp/



メテックス 検索

### お客様相談室 改訂8版

TEL: 03-3589-4555  
(土・日曜、祝祭日・年末年始を除く平日9:15~17:15)  
FAX: 03-3589-5500 (24時間受付)  
E-mail: metex-master@metex.co.jp